

中根小学校区タウンミーティング議事録

令和元年 8 月 2 日（金） 10:00～12:00

保健センター研修室

- 1 市長挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
 - ①平成 30 年度市民満足度調査結果について
- 4 行政区の意見等話し合い

栄西行政区：柏田陸橋の騒音について、回答に竜ヶ崎土木事務所に要望とあるの
で、十分理解した。空き家対策について、結果として今年の 6 月半ばごろに、
要望通り解決しており、ありがとうございます。要望した方にも十分に途中
経過を理解していただき、あまり騒ぎになることなく解決した。この件は、
改めて総会で説明したいと思う。

雑草の清掃について、408 号線柏田陸橋の下にある駐車場の雑草について、
クリーン作戦の際、ここだけがきちんとされていないという声があった。除
草については、随時実施しているという回答ですので、とりあえずそのまま
受け取っておく。この駐車場には防犯パトロール関係のポールが当初 4 本
あったが、今は 3 本になっている。今年の 3 月に全て破れて倒れたものを 3
本だけは直して現状通りにした。我々が出来る範囲であればやりますが、牛
久都市開発の看板もあるため、我々がやっていいのかためらうこともある。
料金表の紙もボロボロであったため、今はテープで張り付けてある。この場
所をどのように清掃するのか、クリーン作戦に合わせてやるのか、年一回見
回っていただけるのか教えて頂きたい。

建設部長：駐車場は 408 号線の下になるので、元々は竜ヶ崎工事事務所が管理
しているものであるのだが、市で借り受けて、市民の方に利用できるように
と駐車場を整備した。それを牛久都市開発株式会社に管理を委託している
状況である。草刈りの時期などは確認をして再度お話しさせていただく。看
板等についても再度確認をして、至急直させるよう進めていきたい。牛久都
市開発に管理をお願いしているのだが、市の担当としては都市計画課で対
応しているので、お気付きの点があればご連絡いただければ対応したいと
思う。

市長：空き家対策について、強制執行を今年は 2 件やったが、強制執行は牛久市が
お金を代替えしており、時間も経費もかかる。国の方も、もう少し考えてい
ただければと思う。皆さんにご迷惑をおかけする建物があれば条件を整え

ばすぐに壊すなど、スピード感をもって対応をしたい。

猪子行政区：猪子の踏切から、愛和病院までの道路について、6月11日に現場説明ということで、市の幹部の皆さんに集まっていただき、現地を見ていただいた。猪子は道路が狭い代名詞みたいなもので、非常にイメージが悪い。10mの道路ができれば、片側に2.5mの歩道ができ、通学路にもなる。安全にもなり、猪子のイメージを変える道路になる。6月11日の説明では、田宮の23号線の道路が遅れているので、ちょっと待っていただきたいということであった。令和3年度までに23号線の道路を終わらせて令和4年から猪子の詳細設計に入りたいとのことであった。国からの交付金が少なく、お金がないと設計や工事が発注できないのは、当たり前だが、愛和病院側の山林はいくらもしないので、そこを拡張できないのか。狭い道路が入ってきているので、事故にもつながりかねない。前市長の時代に、この道路をどうしても作りたいという要望で、区民会館を移転新築する費用を全て出すので、移転してくれといわれたので、移転した。その点を再認識いただいて、一日も早くやっていただきたい。

会館周辺の道路整備について拡張をしていただきたい。新設道路周辺の道路は非常に狭く、他の行政区より生活道路として使いづらい。新設道路の開通前に5mの拡張を要望する。猪子も宅地を減らすのは嫌だということがあったが、今はいいよという人が増えてきています。区長も中に立つので、拡張をして欲しい。回答ではできるところからやっていきたいとなっていますが、四隅を切るとかではなく、拡張をして欲しい。

消防小屋の移転計画について、4月に新しく区民会館ができたので、消防小屋、防災無線、防災倉庫を会館の近くに早く作りたい。猪子の場合は、防災組織をつくっていないので、その基盤の元でつくっていききたい。魅力あるものを作ればお客はくる。道路と消防小屋、防災無線、倉庫を整備していただければ、住み良い牛久の街になっていく。猪子の場合は、市街化区域と調整区域と分かれる場所があり、地主も持っていてもしょうがないので、売るとい人もいる。災害対応をしてもらえれば猪子のイメージが変わる。消防小屋の移転を早期に実現していただきたい。区長が仲介して地権者と話をする。

建設部長：猪子の新設道路ですが、区長さんがご理解いただいているように、大きな事業として市道23号線の整備を進めており、この23号線が終了したら、猪子の道路に入ると説明した。補助金の交付状況、用地交渉に時間がかかったが、令和3年度には開通の予定で進めている。ご提案のあった、単独事業で少しでも土地を買っていただければということですが、牛久市も財政が厳しいので、補助金が活用できるものであれば、活用してやりたいと

いう意向であるのをご理解いただきたい。やらないというわけではなく、前向きにやっていきたいと思う。会館周辺の道路の拡幅についてですが、この新規道路と交差する道路が何本かでてきてしまう。まだ新規道路については、基本設計であり、詳細な測量がされておられません。今後、周りの道路との取り付けに関しても、警察署と協議をしながら設計を進めていくので、先に拡幅という事で用地を拡げていくと、そのまま取り付けられるか疑問が残ってしまうため、詳細設計が終わってから対応していきたい。できるところから対応していく。

市民部長：消防小屋の移転については、6月の意見交換会でお答えした通り、現在の消防小屋は旧区民会館の敷地に建っており、新規道路の予定地となっている。消防小屋は道路の移転補償の対象になるため、新規道路の進み具合に合わせて、移転の計画を立てていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたい。防災広場については、現在、猪子行政区の新しい区民会館近辺にということですが、現状は狭あい道路に建設されておりますので、新しい新規道路の建設が進み、その時に近隣の行政区の皆さんの意見も聞きながら進めていきたいと思っております。

猪子行政区：狭あい道路については、新しい道路の設計ができないと進めていけないとあったが、そこから、10mも20mも離れているところで、トラブルが起きている。新規道路の建設と絡まない道路もあるので、今困っている道路を拡幅してほしい。消防小屋は補償の対象とのことだが、災害は待たないでほしい。国から補助金がもらえるかもしれないが、緊急時に対応できるように、できるだけ一カ所にまとめたい。環境の良い新しい会館の元で全てやりたい。

むつみ行政区：公園の件について、新しく公園をつくるのは難しいと理解しているが、子供たちは道路で遊んでいるのが現状である。現実的に遊ぶ場所がないので、道路は危険だからやめなさいとは言にくい。むつみ会館の周りに空き地があるので、これを利用して公園を造ることができないか。また、空き家もあるので、うまく利用できないか考えているが、空き家だと敷地的に狭いのでは公園として使えない。やはりむつみ会館の近辺が適当であると思っている。財政的には厳しいことは理解しているが、むつみ区の長年の要望なのでお願いしたい。

道路について、せっかくきれいに舗装したのに、下水ができたということで、ほじくり返して、道路があちこちボロボロになっている。下水を引くために掘り返すことはやむを得ないのだが、新築するのも落ち着いてきたので、これを機会に全部舗装していただければと思う。また、掘り返した後の埋め戻しが非常に雑であるので、掘り返した後の補修の確認を市の職員によって

しっかりやって欲しい。

さくら園の入口の前に浄化槽があり、ひものロープで囲ってあるのだが、それをどかして駐車する人がいる。連休に帰省した人が停めているようだが、浄化槽は4、50年前に作られたものだから危ないと思っており、5月か6月に下水道関係の課に連絡をしたところ、早速鉄パイプの柵をつくってくれた。すぐに対応していただき、ありがとうございました。

むつみ行政区：保健福祉部、教育委員会に昨年の夏から、色々問題提起をしてきた。双子の障害児を抱えたお母さんがおり、保育所に入れてほしいということをお願いしたが、保育士さんがいないから対応できないということであり、危機感をもった。31年度の予算で保育士を採用してからでは間に合わない。やむなく教育委員会をお願いして、幼稚園で受け入れられないかと相談した。最後は、民生委員の新年の集いにて、市長、教育長、保健福祉部長に話をし、市役所としてこの困窮家庭を何とかしてほしいと話をし、公立幼稚園に入らせていただくことのつなぎをさせてもらった。去年の9月時点の保育園の待機児童は牛久で102名であった。そのうち障害者は11名であった。この7月、8月でいうと、待機児童の102名が18名になった。障害者11名が2名となった。市の努力も大いにあると思うが、人の入れ替えもあるので、抜本的に改善したかはわからないが、表面的には11名が2名になり、残っているのは双子の障害児だけになった。幸いにも幼稚園に入れていただいたので、緊急避難的にはやれているが、付き添いなども必要で、お母さんも働きにでられない。一過性に解決したのか根本的に解決したのかが見えていない。千葉県に比べると茨城県は非常に貧しいので、ほとんど市町村任せである。県南で手を組んで、県への働き掛けをもっとやっていただき、保育士の採用がいくようにしていただきたい。

いま、外国人のご家族が増えてきているが、学校では書類が全部日本語で配られるので、親御さんの中には理解できないという人もいる。全部に対応するのは学校では不可能なので、翻訳して返すなどのサービスを行い、これからの国際化に対応していく必要があるのではなかいと思う。どれくらい困っている状況があるかを調べていただいて、学校の負担にならないことも考えていただければと思う。

市役所、社会福祉協議会についても、民生委員の負担軽減を考えていただいているが、行政区においても民生委員にもう少し寄り添っていただいて、色々な場面で工数的な扱いで民生委員を使う事の無いように区長さんをお願いしたい。市の方も行政区の方も民生委員の環境整備も進めていただければと思う。

保健福祉部長：茨城県の今の待機児童は、本年4月1日現在で、345人となっ

ていて、県内の20の市町村で待機児童がでてきている状況である。県南の市はほとんど待機児童がでており、保育士確保の地域の格差というのは、茨城県としても問題として捉えている。茨城県の市長会としても、地域格差をなくするための取組みを進めているが、なかなか解決できていないのが現状である。牛久市としてもできるだけ努力をして保育士確保を進めている。障害児補助金については、今年度の予算では、4人の保育士を公立保育園で採用できるような予算を確保した。その中で、保育士1人を雇用することができ、現在、向原保育園で障害児の保育にあたっていただいている。今後も保育士の雇用について継続的に考えて行きたい。

教育部長：親御さんが日本語をしゃべれないことについて、教育委員会も同じ問題意識を持っている。今年度から訪問型家庭教育支援事業というものを始め、その中の取組みの一つとして、日本語がしゃべれない外国の親御さんに対してどのような対策ができるか検討をしている。ご提案のあった翻訳サービスも含まれてくるのかと思う。今年度から始まったばかりの事業であるため、まだ具体的にご家庭へのアプローチなどはしていない状況であるが、来年度以降どのように進めていくか検討している。刈谷小学校、牛久小学校、牛久二小で、日本語学校を開いており、徐々に対策に取り組むを深めていくところである。着実にそういうところに取り組んでいこうという方針でいるので、もう少しお待ちいただければと思う。日本語がしゃべれないご家庭の数なども把握しておりますので、対策はしっかりと行っていきたいと思う。

市民部長：外国の方の日本語力向上としては、市の国際交流協会の中で日本語教室を開催しており、2018年の実績としては延べ100名、16か国の方が利用いただいている。そのような教室もありますので、ご紹介いただければ、ご案内することもできます。

建設部長：道路の件について、通学路を主体としてU字溝の改修を計画しているところである。改修と同時に舗装もし直す事を考えているが、道路の改修は、各行政区から多くの意見をいただいております、一気にはできない状況である。むつみ行政区の現場も確認させていただいたのですが、改修する道路の優先順位を行政区さんと相談させていただきたいと思う。また、掘り戻した舗装が雑という話がありましたが、上水道、ガスは専用許可を出して工事を実施しておりますので、担当する課において、指示をだして復旧をしていくようにする。

一厚東行政区：サンキの所の一厚踏切から6号線までが、通学路と書いてあるが、時速何キロとは書いていない。6号線には40キロと書いてある。ここは、登下校で一厚東と西の小学生がかなり通る場所である。市役所から踏切ま

では縁石があるが、踏切を渡ると縁石がなく、車が通ると立ち止まってしま
う。速度制限の表示は可能なのか。

一厚東行政区：関連として、408号の陸橋も非常に混むため、ここが抜け道に
なっている。ちょうど通学時間帯と重なっており、非常に狭く、スピードも
出すため、危ないなと感じている。警察とよく相談していただいて、立て看
板などで注意喚起をするなど必要であると思っている。

市民部長：警察と協議をして、秋口までには40キロ表示をするように調整して
いるので、もう少しお待ちください。実現できると思います。

一厚東行政区：道路の横の脇に土埃などのゴミがたまるが、例えば、我々が清掃
して袋詰めした場合は持って行っていただけるのか。

建設部長：清掃していただき、ご連絡いただければうちの方で回収をする。道路
清掃車で回ることもあるのだが、路線数が多いので、手の届かないところも
あるので、ご協力いただければと思う。

一厚西行政区：先に話のあった行政区において、関連することが全て網羅されて
おります。よろしくお願いします。

下根行政区：念願であった2号線の整備ができ、運動公園に行くところが整備さ
れてよかった。

330号線の排水整備について、市の補助金が必要なところではないとは思
う。実際にいってみると段差があって本当に危ない。そんなにお金がかか
るものではない。309号線についてもそうであるが、地権者が理解してく
れればとあるが、予算的にそんなにお金がかかるものではないと思う。要
望の中で、大きいものについては、すぐに出来ないのは分かるが、お金のか
からない2点については、どちらか1つぐらいは早めにやっていただきたい。

建設部長：330号線について、水があふれるということでお話をいただいてい
て、昨年度、U字溝内の土砂を清掃させていただいた。今のところあふれる
状況はみられていないため、今後も状況を確認していきたい。

段差の件について、U字溝のところの高さがあって、昨年度工事を実施し
たが、勾配が急なところがあるため、段差の解消を検討して進めていきたい。
U字溝の入れ替えについても補助金活用できるものがあるので、U字溝につ
いては改めて引き続き検討していきたいと思う。

309号線の道路については、今時点では舗装というのは難しい状況です。
隣接が畑ということで、畑の地主さんがご了解いただければ、当面、碎石舗
装ということで考えていきたい。畑がありますと、碎石が中に入るなどの苦
情もあるので、碎石舗装を実施する場合は隣接地権者さんのご了解を求め
ているところがあるので、ご理解いただければと思う。

下根行政区：碎石の話だが、隣接の人は全部ちゃんとやってもらえればよいとい

う話である。実際は交差点の所を50センチぐらい削らないといけない。それをちゃんと図面を作って、地主さんに提出すればよい。住民の方はやってもらった方がいいと思っている。地主さんに了解をとって、こちらで設計をした場合に、市役所がちゃんとそれについて回答を出してくれるのか。土を掘削して、そのあと砕石するのを出したときに、市役所はやってくれるのかということを知りたい。

建設部長：あくまで砕石舗装というのであれば、ご了解いただければやる。

下根行政区：今の状態の上に、砕石を乗せるということではない。それでは解決にならない。元々の道路の形体がおかしいので水がたまるので、それを改善したい。

建設部長：改めて相談させていただく。

大中行政区：6号の信号について、2分以上待たないと信号が変わらなかったが、今は30秒以内になるようになった。信号は早くなるようになったが、ガードールはそこにつくっていただきたい。

その信号の延長線上に踏切があるが、すれ違うことが出来ない。2台分ぐらいの待避所を線路の左右に作ってもらいたい。

中根地区内外周道路について、側溝に車が良く落ちるとのことであったが、今はポールを立てていただき、側溝に落ちることがなくなった。

中根小学校児童の通学路について、子供たちの安全を確保するための対策を検討していただきたい。

中根小の北側の宅地開発について、砕石を敷いただけの道路があり、雨が降ると水溜りができてしまう。まだまだ建つ可能性があるところですので、早急に対策をしていただきたい。

東大和田地区市道の側溝について、浸透式のため、水はけも悪く今現在完全に埋まっている状況である。側溝の整備について検討して頂きたい。

東大和田地区内外周道路の側溝について、定期的な清掃をお願いしたい。また、草刈りを継続して頂きたい。

建設部長：6号国道のガードールについて、管理者である常陸河川国道事務所土浦出張所に要望をし、現地を確認させていただいて、適切な対応を検討しますとの回答をいただいている。

待避所の件については、改めて区長さんともご相談し、現地を確認させていただきながら、待避所として設置していただけたところがあるのか、再度検討させていただきたい。

砕石道路については、舗装と側溝を一体的な整備と考えており、現在のところ整備の予定はない。砕石の補充を随時行っていきたいと思う。

ねむの木台の道路の排水について、側溝整備については検討してきたい。

今現在、大中地区については、大中区民会館周辺の道路整備を優先して進めているので、ご理解いただきたい。草刈りについては業者に発注しているが、時期が重なり、手が回っていない状況であるが、盆明けには現地にはいる予定である。

市民部長：さくら公園の通学路については、少しずつ対応していたが、抜本的な解決にはなっていない。警察と再度検討させていただいて、全面舗装するなど対応を検討していきたい。踏切前後の対応についても警察と協議しているが、抜本的な解決にいたっていない。カラー舗装で危険を知らせるなど、対応を検討していきたい。

ひたち野行政区：1次避難所は、自分たちの自治会館で、2次避難所は中根小学校になっているが、中根小学校の収容人数300人に対し、周りに住む人の人口は9,000人であり、人口に対し避難所の収容人数が少なく、2次避難所には入りきれない。住んでいる人が全部入りきれない避難所は全国にはないと思うが、中根小の3パーセントは低いのではないか。入れないというのが分かっているのであれば、入れない人を対象に、自宅避難のためのマニュアルを整備したほうが良いのではないか。

市民部長：2次避難所については、新しい中学校ができるため、避難の区割りを変える。多少は緩和すると思うが、区長さんのおっしゃる通り、全員が避難できるキャパはない。自宅避難のための備蓄など、実際に注意する点や用意しておくものなど、冊子を作成する方向で考えていきたい。

一厚東行政区：広場にまず避難しないとイケない。初期的にどういう対応をしたらよいかを、区民に知らせる方策を大事にした方がよいのではないか。ある程度落ちつけば、一厚東行政区だと、牛久栄進高校にいけば物資があるから、そこに取りに行ってみんなに配るなど、そこまでのことを事細かにPRしていくのが現実的だと思う。

高谷部長：市では、災害が起きた時の1次避難所である区民会館に避難していただいて、区長さんのもと区民の方の安否確認をしていただいて、必要に応じて2次避難所に避難していくことを想定している。2次避難所は長期間に亘ってそこで生活していく場として想定している。いまおっしゃるように各行政区で進めていただければありがたい。市もそのようなかたちでPRをしていきたい。

びゅうパークひたち野行政区：現場のゴミ箱等には7月15日以降撤去しますという張り紙が貼ってあり、十分周知はされたのかと思うが、具体的に撤去時期は決まっているのか。

建設部長：お盆明けには撤去するとして進んでいる。

ひたち野行政区：撤去することは行政区としては理解したので反論はないが、こ

の場合の撤去の目的は、受動喫煙の防止ということですが、ここの地区の全体の禁煙はされていないので、くわえたばこで歩くには問題はない。心配するのは、この灰皿を撤去したことで、たばこのポイ捨てが増えた場合、灰皿を撤去したせいだと言われるのではないかと懸念している。もし、受動喫煙防止というのであれば、地区全体を禁煙にするということをお考えた方がよかったですのではないかと思います。住民に説明するなら、管理費用が削減できるといった方が納得できる。

建設部長：市としては受動喫煙防止ということが目的で、撤去とさせていただいた。健康増進法が改正され、公共施設の敷地内禁煙などされており、人が集まる場所であるので、撤去した方がよいと判断させていただいた。地域全体を禁煙とした方がよいということですが、まだそこまで至っておりません。今後検討していきたいと思う。

びゅうパークひたち野行政区：道路にゴミ箱があること自体がおかしい。そもそも設計をした人が間違っており、これを撤去したからどうこうというのは無いのではないかと思います。

建設部長：市役所の裏から駅に続くシャトー通りにも、ゴミ箱と灰皿が設置されておりますが、これも同時期に撤去する予定でいる。

ねむの木台行政区：ねむの木台にくる道路は2本しかない。外周道路が狭いので、相互通行ができない。待機場所を設けて欲しい。まだ世帯は増えつつあるので、最終的には大きな道路を作ってほしい。回答に書いてあるが、これがどの程度進んでいるのかお伺いしたい。

押しボタン信号機について、茨城県警本部と話しをしたところ、あの信号機は感知信号なので、前の信号から連続で変わってくるとのことだった。単独にするとお金がかかる。全体的な交通量を見ながらもうちょっと見当させて欲しいとのことであった。市役所が要望されたということで、もう少し様子を見ようと思う。

建設部長：待避所の件ですが、回答の時点では地権者と交渉し検討すると書かせていただきましたが、地権者に交渉させていただいて、ご了解はいただいたので、今後設置に向けて進めていきたいと思う。

ひたち野地区の開発について、ひたち野地区は宅地供給できる土地が残っていない状況となっている。ただし、若い世代から非常に需要が高く、来年度ひたち野うしく中学校が開校することもあり、さらに需要の期待が高まっている。そのような中で、牛久市としては、平成29年度から、市街化区域の周りで新たに宅地供給できる場所はないか検討をしており、土地の形状、雨水排水、農地や宅地の状況など調査をしている。今年度から地元の意向等を確認しながら、エリアを設定して開発手法を絞り込んでいきたい。これま

での検討で、エリアは6号国道から西側に絞られてくると思う。仮に東大和田地区ということになれば、ひたち野地区からねむの木台までの道路整備も考えられてくる。しかし、まだ区域設定も場所も決まっていない状況である。この事業については、需要が高まっているので、出来るだけ早く事業は進めていきたい。多大な事業費を要することになるので、できるだけ軽減するために、開発に民間の事業者を活用したいと検討を進めている。

ねむの木台行政区：ついでに公園も検討していただきたい。

市長：牛久と県でやりとりをしながら、やっと地区計画という名のもとに、もっと宅地を供給してもいいよということになった。牛久にもっと人が移り住むと思う。

防災について話があったが、牛久市独自の防災体制のマニュアルを作る必要があるということで今実施している。

12時00分 閉会